

「産総研の微細構造制御技術とその応用開発およびそれらの知財紹介」

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて講演会を開催致します。
今回は産総研の微細構造制御技術とその応用開発の情報とそれらの知的財産等の紹介をさせていただきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

記

◆日時：平成27年10月7日（水）14：00～17：00

◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室

（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）

◆定員：35名

◆参加：協会会員及び公設機関等に属する方

※席に余裕がある場合は一般参加も受付いたします。（無料）

裏面申込書を FAX でお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■講演会スケジュール：（司会：パテントオフィサー 池山 雅美）

14:00ー 「ナノカーボン・ハイブリッドアクチュエータの研究開発」

産総研 無機機能材料研究部門 ハイブリッドアクチュエータグループ

主任研究員 寺澤直弘

我々のグループでは、無機ナノ粒子と有機高分子の制御されたハイブリッド構造による高性能なアクチュエータ等のデバイスを研究開発し、医療福祉機器を中心とした様々な分野への応用を行っている。具体的には、導電性ナノ粒子を高分子に分散したハイブリッド電極によるソフトアクチュエータやセンサーの開発を進め、マイクロポンプなどの医療デバイスや、触覚デバイス等の新しい情報機器への応用展開を進めている。この講演会では主にデバイス素子の構成成分である、ナノカーボン、イオン液体、ポリマー等に着眼した研究開発状況についてご紹介したい。

14:40ー 「顕微インデントを用いる迅速クリープ試験とノートン則によるクリープ特性評価」

産総研 構造材料研究部門 材料表界面グループ

主任研究員 宮島達也

材料のクリープ歪みの応力依存性を表現する Norton 則（べき乗則）はクリープ特性の代表的な解析式として広く知られている。従来、引張（圧縮）方式のマクロ・クリープ試験が一般的だが、応力水準を変化させた非常に長い試験期間を要するなど実用上の課題がある。一方、インデンテーション・クリープ試験は高い応力を発生させられるため極めて短時間にクリープ試験が完了する。本講演では、接触面積計測式の顕微インデントを用いるインデンテーション・クリープ試験により、Norton 則の定数を簡便かつ定量的に評価する新規な解析法を紹介する。

15:20ー ー 休 憩 ー

15:40ー 「体に優しいコアシェル型粒子の開発」

産総研 無機機能材料研究部門 粒子機能化技術グループ

主任研究員 永田 夫久江

生分解性ポリマーをコアとし、リン酸カルシウムをシェルとするコアシェル型粒子の合成技術を開発しました。生体内で安全に分解代謝可能な材料のみからなる粒子であるため、薬物送達システム（DDS）用担体や、化粧品などへの応用が可能です。また、界面活性剤を用いずにナノ粒子を合成することにもこだわった手法であり、生体に対して安全であると同時に環境にも優しいコアシェル型粒子合成技術です。

- 16:20ー 「産総研の技術移転について」
 産総研 イノベーション推進本部 ベンチャー開発・技術移転センター
 技術移転マネージャー 飯田 文郷
- 16:40ー 総括討論・名刺交換会 (17:00 終了)

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)
 TEL:052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

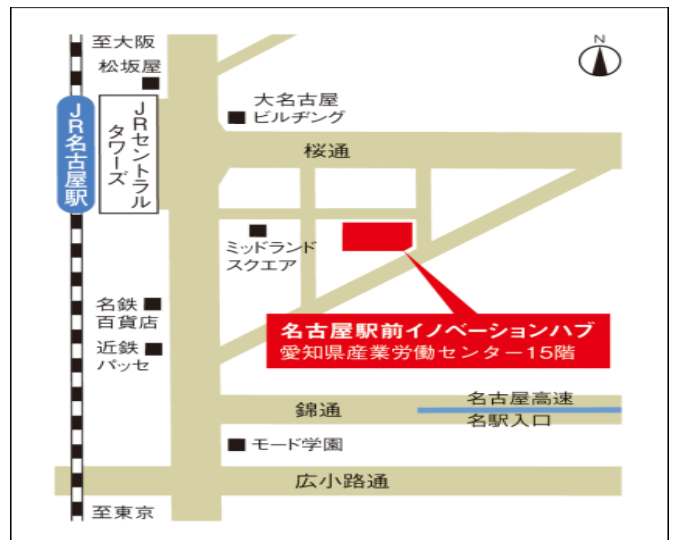
【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

住所 : 〒450-0002
 名古屋市中村区名駅4-4-38
 愛知県産業労働センター 15階
 (ウインクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩2分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成27年度産総研知財普及講演会

「産総研の微細構造制御技術とその応用開発およびそれらの知財紹介」

(平成27年10月7日)

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL ()	-

※本申込書に記載される情報につきましては、個人情報保護法のもとに適切に管理し、本目的以外への転用は行ないません。